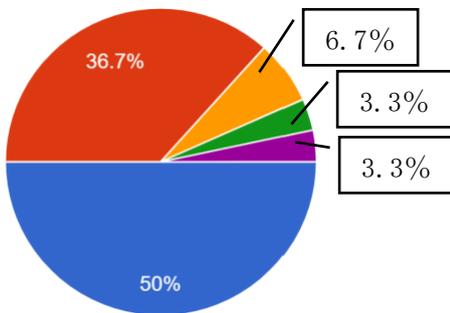


令和6年度「学校評価アンケート」結果と考察について

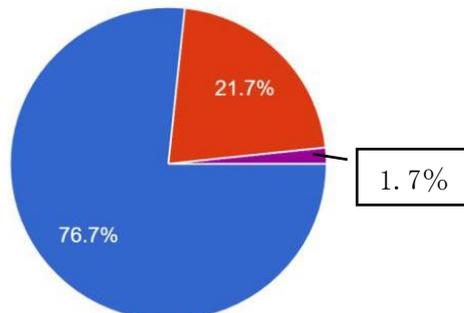
昨年12月に実施した「学校評価アンケート（保護者）」にご協力いただきありがとうございました。60名の方から回答をいただきました。今回いただきました結果を今後の本校の教育活動に活かしてまいります。

- ①あてはまる
- ②ややあてはまる
- ③あまりあてはまらない
- ④あてはまらない
- ⑤わからない（判断できない）

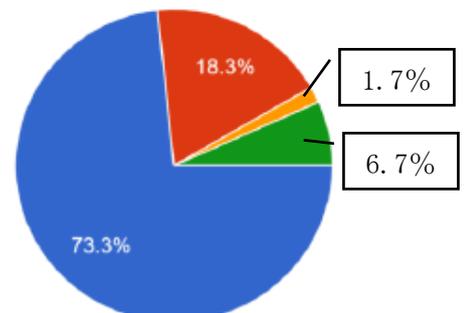
1 学校の教育方針「やさしさあふれる楽しい学校」を知っている。



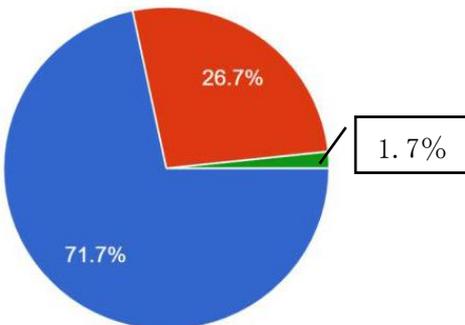
2 学校が力を入れて行っている取り組み（たてわり班活動）について知っている。



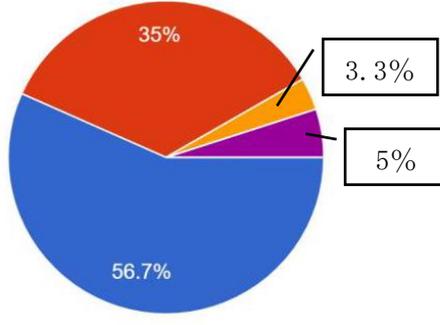
3 本校が、石川中学校と一緒にいう取り組み（3校合同引き取り訓練、意見発表会）について知っている。



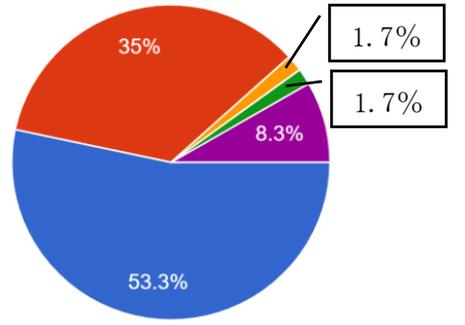
4 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などに安全管理に取り組んでいる。



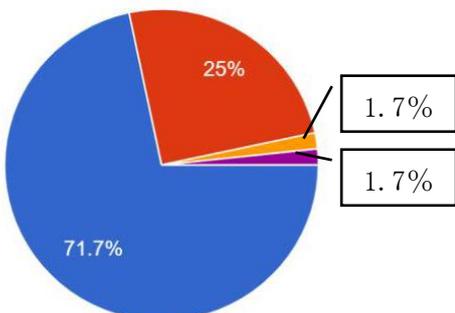
5 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。



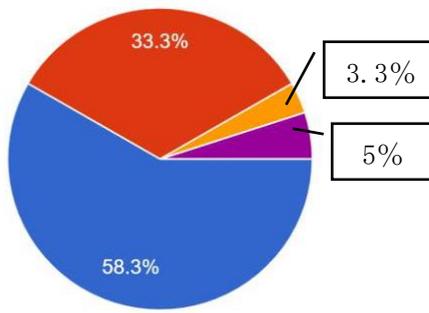
6 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。



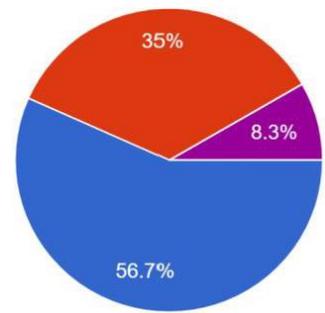
7 子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。



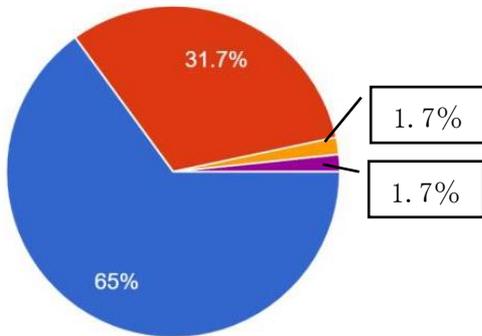
8 学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。



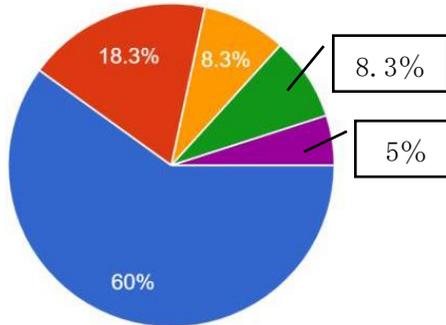
9 学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。



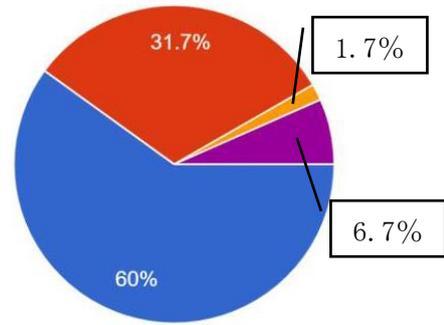
10 学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。



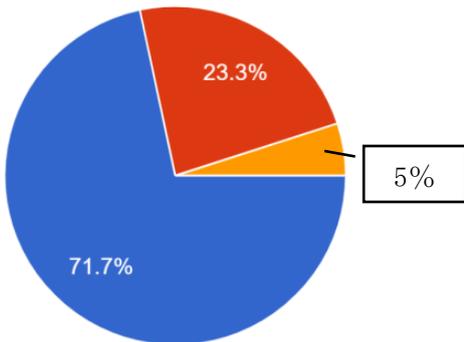
11 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。



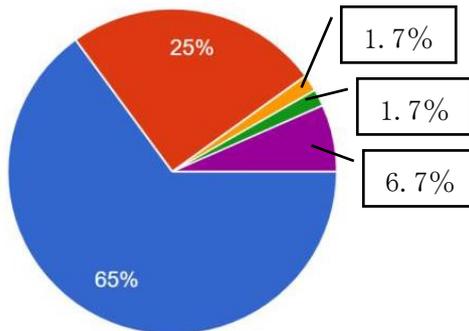
12 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。



13 学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。



14 学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。



【考察】

各項目、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせると80%以上のものが多いです。その中で項目6の「いじめ防止の取組や対応」については、昨年度は肯定的回答が72%だったのに対して、今年度は88%となり、16ポイントの上昇が見られました。これは、今年度、学校全体として、いじめ標語の作成やその取組などの発信をホームページ等で積極的に行ってきたことに対して、評価をいただいたとだと思っています。引き続き、取組を継続し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めてまいります。

【お寄せいただいたご意見等について】※集約・抜粋

〈ご意見〉

特別支援教育について、理解教育を低学年から始めてほしい。また、特別支援学級（すぎの子）の児童との関わりを増やして、お互いの理解する取組を行ってほしい。

〈回答〉

今年度は特別支援教室（こみっきい）の巡回教員による理解教育を2・4・6年で実施いたしました。また、他者理解のビデオを金曜日の朝の時間に視聴してきました。特別支援学級（すぎの子）の児童が通常の学級の児童と交流学習も行ってまいりました。いただいたご意見を参考に特別支援教育の充実をさらに図ってまいります。